

断熱ソフトウォール施工仕様書

<断熱可とう形改修塗材 E>

※外壁のヘアークラックに追従する微弾性塗料に特殊セラミックを配合し、断熱機能を向上させた下地材です。

(1).工程表

工程	製品名	標準塗布量 (kg / m ² / 回)	塗回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈	塗装方法
下地調整	・ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油分等の付着物をワイヤーブラシ、ウェス、皮すき、サンドペーパー等で除去し、乾燥した清潔な面にしてください。						
下塗り	断熱ソフトウォール	0.5～0.9	1～3	4～16 時間以上 7 日以内	清水	0.4～0.65 L	多孔質ローラー
		0.5～0.9	1～3	4～16 時間以上 7 日以内	清水	0.4～0.65 L	吹付(リシンガン) 口径 4～6 mm 吹付圧力 0.5～0.6MPa
上塗り	アドグリーンコート EX 又は アドグリーンコート GL	0.15	2	3 時間以上 7 日以内	清水	0～5%	刷毛 ウールローラー エアレス

注) 上記の数値は標準的なものです。素地の状態、気象条件、施工条件、施工方法により多少の幅を生じることがあります。

注) 塗付量は刷毛又はローラー施工の場合で所要量の 80～90%、吹き付け施工の場合で所要量の 60～70%を目安にして下さい。

注) 断熱性能は塗付量により異なります。一般の断熱材よりも厚みが薄いため簡易断熱となります。室内の断熱性を十分に確保する用途には向いていませんのでご注意下さい。

注) 吸込みのある下地には「マルチプライマーEP」を塗付してから施工して下さい。

厚塗りを行う場合は十分に乾燥させてから次の工程に移ってください。主材が未乾燥な状態で上塗りを施工すると膨れの原因になります。

注) 上塗材は特殊セラミックを配合している為、必ず使用直前（各工程）に 3 分以上攪拌機（低速回転）で攪拌の上ご使用下さい。

(2).材料荷姿

種類	材料名	荷姿	標準塗装面積
下塗り材	断熱ソフトウォール	12 kg/缶	12 m ² ～24 m ² / 缶
上塗り材	アドグリーンコート EX 又は GL	14 kg/缶	90 m ² / 缶

使用上の注意事項

- 1) ALC パネル・多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、セメント系下地調整塗材等で下地処理を行ってください。
- 2) 下地のひび割れ、破損、浮きなどは適切な処理をしてください。旧塗膜の浮き・剥がれ・チョーキング層等は、除去してから施工してください。
- 3) 押出成形セメント板・GRC 板などには、下地材としてマルチプライマーEP を使用してください。
- 4) 下地がコンクリート、モルタルの場合は、素地の乾燥を十分に行い、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 5) 外部の下地で巣穴・段差などがある場合、セメント系下地調整塗材等で処理してください。
- 6) 吸い込みが大きい下地、部分的に下地調整を行った面が、他の面と比べて著しい吸い込み差を生じる下地、ならびに下地がケイ酸カルシウム板、スレート板等の場合には、適切な下塗り材の選択が必要です。
- 7) 施工場所の気温が 5℃以下、湿度が 85%以上または結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々欠陥発生のリスクがありますので、施工を避けてください。
- 8) 降雨・結露・降雪の恐れ、または強風の恐れがある場合は、施工を避けてください。
- 9) 直射日光化で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 10) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護メガネ、保護衣を着用してください。
- 11) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細については SDS（安全データシート）を参照してください。